



みやかわ

会津美里町立宮川小学校
2020年度学校だよりNo.21
令和3年2月10日

スキー学習



新型コロナウイルスの影響で、学校行事としてのスキー教室は実施できませんでしたが、体育でのスキーは各学年で行ってきました。

昨年度は、雪不足のためにスキーに乗ることさえできませんでしたが、今年はたっぷり積雪があります。校庭の築山でのスキーではありますが、スキー靴を履いて、平地滑走やボーゲンなどをすることができました。スキーの持ち帰りもありがとうございました。

雪国で育つ子どもたちなので、スキーの経験はさせたいと思うものの、年々スキー人口は少なくなっています。スノーボードを取り入れている学校も出てはいますが、一律にいかないのが現状です。学校では最低限の共通項を行うことしかできません。各ご家庭での対応にゆだねる部分も大きいのが現実です。



引き継ぎ



2月も中旬になり、いよいよ6年生の卒業がカウントダウンに入ってきます。学校のリーダーとして全校生の先頭に立って引っ張ってきた6年生から、5年生へとバトンが引き継がれていきます。すでに、いろいろな場面での役割の委譲が進められています。朝のボランティア清掃は、すでに5年生が単独で実施しています。清掃班長、通学班長も5年生が行っています。6年生が在籍しているうちに、様々なことを教えてもらおうと5年生も真剣です。

鼓笛については、今週いっぱい自粛期間が延びてしまったので行いません。けれども来週からは練習を開始し、5年生以下で演奏ができるようにしたいと思います。残り1ヶ月あまりではありますが、引き継ぎをしっかりと行い来年度に向けて準備を進めていきます。

行政による新型コロナに関する支援策

行政が行っている新型コロナの経済的支援策があります。中には、2月に申請期限を迎えるものもありますので、各自でご確認ください。

- ひとり親世帯臨時特別給付金（会津美里町健康福祉課）
- 小学校等の臨時休業に伴う保護者の休暇取得支援のための新たな助成金（各事業所）
- 生活福祉資金の特例貸付（会津美里町社会福祉協議会へ）

首相官邸のホームページには新型コロナによる生活支援について掲載されていますので参考にしてください。

電子黒板が入りました

今月になって、各教室に電子黒板が入りました。デジタル教科書やNHKのEテレなどで利用することができます。まだ導入されて間もないので、どのように使っていたらいいか試行錯誤ですが、効果は上がっています。すでに多くの学年で活用されています。マーカーで印をいれたり、手書きで文字を入れることもできます。またカメラを利用すると、子どもたちのノートを大きく引き延ばしてみんなで見ることもできます。

このように、機器を導入することで、今までにできなかった授業ができるようになってきます。ただし、あくまでも道具（ツール）でしかありません。どう使うと効果的なのかは今後さらに授業を進めていく中で明らかになっていくでしょう。まずは、使ってみることを先生方にはお願いしています。



「待つ」ということ

ある学級の5校時目でした。子どもたちは、帰りの準備を終えて次の授業の準備をすることになっているのですが、なかなかおしゃべりが止まりません。担任の先生はどうするのだろうかと思ってみていると、じっと黙って話し続けている子を見つめています。はじめは周囲の子の話し声もあったのですが、徐々にその声は消えていきます。そして、最後の子が話をやめると、教室は静まりかえります。表だって先生が働きかけているわけではないのですが、子どもたちは察知して静かになることができました。

そこには、子どもたちなりの判断が生きています。もし、先生に言われて静かになるようであれば、それは指示に従うのみ。自分で考えてはいません。「待つ」ことで、子どもたちに考えさせる場を与えたと言えるでしょう。

さて、ご家庭ではどうでしょうか。「早く」が口癖になっていませんか？（せっかちな私は自戒の念が強いです。）「待つ」ことも子育てでは大切なことのように思います。